

備前市施策評価シート

(平成20年度事業)

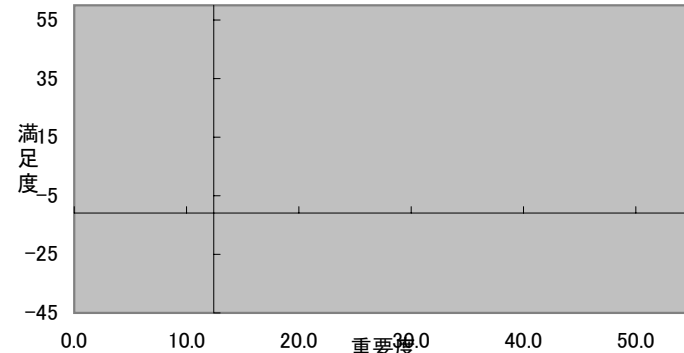
施策名 (小項目)	その他事務管理(統計)	コード	作成者	役職	企画課長
		06-01-11		氏名	里見清美
			電話		64-1871

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	健全で自立したまちづくり
	中項目(基本施策)	簡素で効率的な行政改革
① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	統計調査業務は、直接市民には影響しないが、その結果は、国や地方公共団体がいろんな諸施策に活用している。	
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	統計調査は、調査員による調査票の直接回収が難しくなっていることから、調査対象者に様々な行政施策のための基礎資料となっていることを理解してもらい、より多くの調査票回収を進める必要がある。	
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査員の確保</li> <li>市の統計書の作成</li> <li></li> <li></li> <li></li> <li></li> </ul>	

④ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21	H22
重要度(%)				
満足度(%)				



高  
↑  
満足度  
↓  
低

<見直し領域> その施策や事業が必要か否かの検討が必要	<維持領域> 現状の方向を継続
<検討領域> その施策や事業の存続の検討が必要	<強化領域> 内容を見直し、市民満足度を高める事業を行う

← 低 重要度 高 →

調査結果に対するコメント、市民の反応等	市民意識調査では、統計調査事業に関する市民の反応は少ないが、電話、来訪等により、直接市の担当課の方へ調査ごとに何件か意見が寄せられている。その中には、個人情報保護法の施行以来、情報提供に敏感になってきている方の意見もあるので、担当課として情報保護遵守の旨説明し、調査員への調査協力を依頼している。
---------------------	--

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度	成果指標・計算式・ベンチマークの説明	目標値	
		H18	H19	H20		H21	H23
成果指標 統計調査は、国の委託事業であり、年ごとに統計調査の内容が異なることから、数値目標はない。	目標 実績 達成率 % ベンチマーク					H21 H23 H28 —	
参考指標①	目標 実績 達成率 % ベンチマーク					H21 H23 H28 —	
参考指標②	目標 実績 達成率 % ベンチマーク					H21 H23 H28 —	
参考指標③	目標 実績 達成率 % ベンチマーク					H21 H23 H28 —	

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									経費の性質 義務的 計画事業 その他	平成21年度 5月補正後 予算額 ※一財ベース		
				平成18年度			平成19年度			平成20年度						
				直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数				
1 統計(国県)事業	C	就業構造基本調査	法定				684	718	0.08							
		全国物価統計調査	法定				194	200	0.02							
		住宅・土地統計調査調査区単位設定	法定				446	618	0.07							
		工業統計調査事務	法定				456	818	0.09	647	465	0.08	☆☆☆	義務的	485	
		商業統計調査事務	法定				1,039	1,119	0.12							
		商業動態統計調査事務	法定				233	0	0.00							
		事業所・企業統計調査事務(備前・日生・吉永)	法定	1,977	2,095											
		工業統計調査事務(備前・日生・吉永)	法定	509	1,072	0.63										
		商業統計調査事務(備前・日生・吉永)	法定	10	730											
		商業動態統計調査事務(備前・日生・吉永)	法定	168	116											
漁業センサス	法定							895	174	0.03	☆☆☆	義務的				
経済センサス	法定							16	174	0.03	☆☆☆	義務的	2,639			
住宅・土地統計調査	法定							4,542	1,998	0.31	☆☆☆	義務的				
2 統計(単市)事業	C	備前市の統計等作成事務	内部管理	4	972	0.12	0	1,501	0.15	24	340	0.05	☆☆	計画事業	3	
		岡山県農林統計協会負担金事務	内部管理	24	0		24	0	0.00							
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				平成18年度			平成19年度			平成20年度			計			
				2,712	4,985	0.75	3,076	4,974	0.53	6,124	3,151	0.50			3,127	

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 役割分担の妥当性 (市の関与、協働の可能性)	3	統計調査事業は、20年度も事故もなく実施できた。市の統計書の作成も、順調に実施できた。	3	定例的な調査が中心です。間違いのない調査を実施していく水戸が大切です。
2 事業構成の妥当性 (実施手段)	2	統計調査事業は、国の委託事業である。	2	統計調査事業は、国の委託事業である。
3 施策の有効性 (指標分析、評価年度・中長期の達成度)	2	調査結果を市の行政の諸施策に活用し、反映させていくことが重要である。	2	調査結果を、十分に活用できていない。
担当への指示 (今後の展開、事業見直し、新規事業創出等)	統計調査事業は、国の委託事業であり、引き続き実施しなければならない。また、21年度には5年ごとに実施される一番大事な統計であります「国勢調査」の調査区設定も予定されているので、遅滞なく実施していただきたい。さらに、市の統計書についても、今後の市の各種の施策運営のための重要な資料でありますので、引き続き作成していただきたい。			調査は、正確に間違いなくやるのが大切です。結果については、有効に使えるよう工夫してください。
二次評価者コメント	定例定期な調査を間違いなくこなすことは大切です。結果が有効に使えるよう、分析や利用方法について、他の課の職員へ利啓発が必要と考えます。		基本施策への貢献度	翌年度予算の方向性
役職 総務部長 氏名 馬場 鉄二			3中立	平均的な配分